



中国やベトナムをはじめとする世界の情報を発信しています



組合新聞

2012年8月号

発行: 国際ビジネス情報協同組合

梅雨も明け夏本番ですね
30度超えは当然のことで、何をしても暑い季節ですが
同時に夏休み・・・子供さんやお孫さんを連れて
海やプールに出掛ける方も多いのでは・・・?
家族で大型スーパーに涼みに行くのも一つですね!!
そう言えば、2年前のこの時期は上海万博でしたね
この万博で最も人気を集めたパビリオン・・・中国館
今は一部の展示物を残して永久保存予定
また展示会場としての利用も始まっているそうです
2012年はロンドンオリンピックで
夢や希望や勇気、そして国民が熱くなれるように
日本国の選手には頑張ってもらいたいですね!!

～8月号掲載内容～

- *世界の状況
- *日本の貿易収支
- *最低賃金
- *原発事故調査
- *腰の定まらない政府
- *オスプレイをめぐる
 - *EU 経済
 - *米国経済
 - *中国経済
- *日本に対する影響
- *胡錦濤主席の動向
- *尖閣開発を当局に申請
 - *兵法
- *和歌山県下の8月イベント
- *知っているようで知らない話

世界の状況

現在の世界はヨーロッパのユーロ問題、シリアの内戦状態、中国のアジアにおける覇権主義などの情勢問題が山のように積まれています。

経済では欧州の債務危機問題を原因として各国に悪影響をもたらしています。

ユーロ問題はアイルランド、ポルトガル、ギリシャがEUの支援を受け、次に続くのはスペイン、イタリアと続き中国製品が輸出にダメージを与え、米国、日本へと悪影響をもたらしています。

シリア独裁政権では民主化する戦争と言われていますが、実はこれは「宗教戦争」で爆弾で死亡した国防相に象徴される歯止めのきかない内戦となっています。世界のどこかで問題が起きれば、その国の問題だけではなく全ての国、全ての国民にも影響を与えることになるのです。

日本の貿易収支

財務省の発表による1月から6月の上半期は、貿易統計によると昭和54年以降の貿易収支(輸出-輸入)は最悪の2.9兆円を上回りました。

輸出は平成22年下半期以来3期ぶりに増加に転じたものの、EU向け電子部品は9.1%減少、米国向け自動車の輸出が9.1%増加、一方輸入が7.4%増加し月ベースでは黒字となりました。

これは、トヨタ・日産など車の輸出は伸びているからであり、他の産業は非常に厳しく製造業は前年を下回っています。厳しい理由は既に分かっているかと思いますが円高です。その原因は何か!? どうすれば回避出来るのでしょうか!? 円高は果たして日本の競争力が強いからでしょうか!?

違います、為替相場は実需要だけではなく金融の力学によって動きます。では金融の力学とは何でしょうか!? そう、通貨の供給量です。では本当にそうなのでしょうか!?

円高ドル安になっているのは、米国のドルの供給緩和とユーロ危機の為だからです。中国の輸出の黒字額を考慮に入れれば元の通貨高になるはずですが、基本的には弱いドルと連動させている為と通貨供給量を大きく増やしている為です。本当だろうか?

供給量が本当に円高の原因かどうか、通貨供給量を見ていきましょう。

1999年の通貨の供給量を100とすると2009年には中国は450、英国・韓国共に約250、米国130でユーロ圏は200です。日本はというと120でした。検証してみると、1999年=120円~102円、2009年=98円~89円前後、競争力も原因でないとは言えませんが、通貨供給量が大きく影響していることは確かです。

潜在的経済成長率(参考1)を2%とすると、倍以上(4%~5%)の通貨供給を増やすべきとされています。原因の一番は通貨供給量であることがわかります。

この原因を排除しない政府・日銀は一体どのように考えているのでしょうか? 私にも分かる理論なのに何故供給量を増やさないのでしょうか?

米国の圧力です、日銀が何かをする度にアメリカさんにお伺いを立てています。現在以上に日本が経済成長するのが米国にとって脅威なのです、現在のままではデフレ誘導を行っていると言わざるを得ないでしょう。

(参考1)

潜在的経済成長率：資本・生産性・労働力という生産活動に必要な3つの要素をフルに利用した場合に達成される仮想上の成長率

最低賃金

厚生労働省の諮問機関が、最低賃金を7円引き上げる目安をまとめました。

これは、最低賃金と生活保護が逆転現象を起こしている為に引き上げられる事としたのではないかと思います。

それでも、北海道や宮城は逆転現象のままです、何かおかしいと思いませんか？

それに引き上げることに抵抗を感じませんか？ ほとんど数字合わせで経済の成長が止まっているのに最低賃金を上げ、生活保護は引き下げがなく現状維持だと働く意欲なんて湧きませんよね。

政府・官僚が数字合わせが好きで、法律で定められれば何でも出来ると勘違い(卓上の理論)しています。

原発事故調査

7月5日、国会事故調の報告書によると、国会の事故調の内容は「明らかに人災だ」と結論付けてしています。

東電は安全性強化規制に反対し規制当局もこれを後押ししており、原発補強の必要性や津波により全電源喪失に至る可能性を認識していながら対応を先延ばしし、経済産業省原子力安全・保安院も黙認をしました。

規制当局は専門性でも東電に劣り、規制する立場とされる立場が逆転していました。

7月23日、最終の政府事故調によると地震で福島原発損傷に証拠なしで、人災には踏み込みませんでした。東電や原子力安全・保安院において、津波・シビアアクシデント(過酷事故)対策が不適切であったなどとする中間報告の指摘には変わりがなく、報告書では「東電が事故から1年以上経過してなお、事故原因について徹底的に解明して再発防止に役立てようとする姿勢が十分とはいえない」と批判しました。

東電が今年3月に公表した、炉心損傷や圧力容器の破損などに関する解析調査について、各事故調の違いは産経新聞を拾ってみると次頁記載の通りです。(産経新聞より引用)

中国に関する情報、ご意見、ご相談、またはご意見等々お待ちしております。

投稿先: info@ibia.or.jp

委員長	政府事故調	国会事故調	民間事故調	東電社内事故調
	畑村洋太郎	黒川清	北沢宏一	山崎雅男
官邸の現場介入など	事業者の責任で判断すべきで、当初から官邸が現場に介入するのは適切でない	官邸は東電など関係者が対応していたのに、それを把握しないまま介入し混乱を引き起こした	菅直人前首相の決断力・行動力を評価する関係者もいるが、混乱や摩擦の原因になったとの見方もある	無用の混乱を助長、現場の実態を把握していない者が判断する態勢になった責任は東電、政府、国にある
撤退問題	全面撤退を考えていたと認めることは出来ない、一部関係者が考えていたと疑わせるものはあるが断定できない	東電が全面撤退を決定した形跡は見受けられない	多くの官邸関係者が全面撤退と受け止め、東電の主張に十分な根拠はない	身の危険を感じながら発電所に残って対応する覚悟を持ち対応を継続した
地震の影響	閉じ込め機能を大きく損なうような損傷が生じていたとまでは認められない	地震動による損傷がなかったとは言えない	圧力や水位の急激な低下などは見られず、破損したとは考え難い	安全上重要な機能を有する主要な設備は、安全機能を保持できる状態にあった
作業員の初動対応	非常用冷却水装置の稼働状況の誤認や、代替注水手段を確保する前に装置を停止する誤った操作があった	マニュアルもなく、運転員は十分訓練されていなかった、運転員の判断や操作の非を問うことは出来ない	IC作動状況の誤認は最も重大な(ヒューマン)エラー	中央制御室の表示灯が消え、対応は現実的に困難、代替注水への切替も可能と判断した
SPED	情報が提供されていれば適切に非難のタイミングや方向を選択できた可能性があった	非難区域の設定の根拠とすることができる正確性はなく、非難指示に活用することは困難	モニタリング重点地点を決めたり、適切な防護対策を実施する参考データになる	

1. 政府の事故調では事故が起こった原因は「誰に責任はない」「想定外だ」と言いたいのでしょうか
 例えば「早期に原子炉の冷却操作が出来ていれば水素爆発が防げたという評価も困難」と記述されています。また、津波が原因だからそれに対する対策をすれば原発の再稼働が出来る、地震で損傷がないから再稼働には問題ない…既成の政府の方針に沿った報告書ではないのか？
2. 国会の調査委員会の結論で、事故原因である所謂「なれあい」が再度このような事故を起こさせる事を懸念します。
 原発の事故ばかりが報道されているが、日本が他国に襲われ原発に爆弾を一発落とせばどれだけの人が亡くなるか、何十年その土地を利用出来ないか日本が廃墟となりその被害は計り知れません。防衛の為の危険がある「オスプレイ」どころの騒ぎではありません。少し誇張すれば日本が無くなるかどうかの恐ろしい爆弾(原発)を抱えているのが現在の日本なのです。当面の電力不足から原発の再稼働を安易に認めるのは、日本の全ての命と引き換えに電力の安定供給であることを認識しなければなりません。いずれにしても最終的には原発は廃止するべきでしょう。

中国に関する情報、ご意見、ご相談、またはご意見等々お待ちしております。

投稿先: info@ibia.or.jp

腰の定まらない政府

何をしても腰が定まらない政府、売国奴的発言をしている丹羽大使をついに更迭か!?

産経新聞によると、政府は22日9月の通常国会閉会後に丹羽宇一郎駐中国大使を交代させる方針を固め、後任の調整を急いでいます。政府高官は産経新聞の取材に対し「正式決定は通常国会の会期(9月8日)終了後になる」と述べました。

また、外務省幹部は「日中国交正常化40周年がいい区切りだ」と述べ、実際の交代は40年前に日中共同声明が署名された9月29日以後になるとの見通しを示しました。

岡田克也副総理大臣が外相当時に「政権交代の象徴」として丹羽氏の起用を主導した経緯があることから、他の外務省幹部人事と同時に交代させることで「更迭色を薄める」方向で検討しているとしている。

訳のわからない事ばかりをする政府民主党は社会の声に右往左往、さすがにこれには勝てず最終は実質更迭をするか…。

7月30日、日経新聞によると内閣支持率は28%で6月から5ポイント低下し、民主党支持率18%で8ポイント低下、さもあるう。

オスプレイをめぐる

今世間を騒がせているオスプレイ、ヘリコプターと輸送機の両方を備えた「垂直離着陸機」です。オスプレイにも種類があり、配備される予定のものは確率的には現在配備されている大型ヘリコプター(2004年普天間で事故を起こした)よりも事故率は低いことは確かなようです。

森本敏防衛相は、日本への米新型輸送機オスプレイ配備について「安全性が懸念されて地元で受入れ難いという運動が起きた時、日米安保体制が揺らぐのではという側面は否定できない」と語りました。地元の反発が更に強まれば日米同盟に影響しかねないとの認識を示したのです。

また、このことを踏まえ米国に行くことになっていますが、安全性がどこまで分かるのやら単なるパフォーマンスでなければよいのですが…。

確かに基地周辺の皆さんにとって米軍用機の配備は危険ですし、少なくとも嬉しいものではないでしょう。もう少し視野を広げて見ると尖閣諸島問題や北朝鮮の核実験やミサイルなど、日本をめぐる脅威は沢山あります。米国の軍事力によって安穩としていられる国民が「オスプレイの導入する危険」と「日本が守られている安心」のどちらを選ぶかの判断をせねばなりません。単にオスプレイが危険だから反対であるという立場が、日本にとって本当によいのでしょうか? 米軍基地がないという状態がいいのだとすれば、それに変わるもの…日本が軍隊を持たねば「安全・安心」して居られる状態でなくなるのではないのでしょうか。

しかし、事故と言えば車が断トツですが、車の保守点検もろくにせず、携帯電話で話しに夢中運転、携帯メールを見ながら運転、サンダル履いて運転している国民が安全性を訴えてるのも不思議な感はありますが、2倍の航行速度、3倍の輸送量、4倍の航行距離ですから、中国や北朝鮮にとっては迷惑な話でしょうね。だって、空母や基地から迅速に隊員を送り込めるんだから隣国にとっては非常に困る代物でしょう。

北朝鮮が支援する社民党や、中国寄りの小沢さんの新党も必死で反対するかも知れませんね。

中国に関する情報、ご意見、ご相談、またはご意見等々お待ちしております。

投稿先: info@ibia.or.jp

EU 経済

7月24日、スペイン国債が7.6%でユーロ導入後の最高水準をつけました(価格が下落)。銀行だけでなく財政が危機に陥り救済に追い込まれる可能性が高まっています。

ギリシャの財政健全化計画の実行が進まずユーロ圏離脱観測も囁かれ、外国為替市場では円対ユーロが94円前半(11年8ヶ月ぶり)、対ドルが1.2067ドルまで下落しました。

これにたまたま、ECB(欧州中央銀行)のドラギ総裁は金融機関などからスペイン国債を買い上げると表明しました。イタリアとて同様の状況となっています。分かり易く言うと、ギリシャはEU諸国から財政の超緊縮策を求められています但未だにその実行はなされていません。スペインは不動産バブル崩壊の痛手を負い、EUに銀行などに対する支援を要請しています。市場(ファンド)がスペインの銀行のみならず、国を相手に儲けを仕組んでいます。

助けを出せるのは健全なドイツのみで、フランスとて非常にしんどいものがあります。

しかし、ユーロを維持するためにはドイツが主となり(資金援助)、ギリシャ・スペイン・イタリアなどを助けなければならないのです。助けられる国々は果たして言うことを聞くのでしょうか? ドイツ国民はこれを承知するのでしょうか?

例えば、債務免除を50%余りしたギリシャでさえ未だにその行く先が見えないのに、その上の援助は何処に? 果たして着地点があるのでしょうか? ギリシャはじめ一部の国は離脱か? それともユーロ圏崩壊か? その行く先は見えず今後の報道に注目を要します。

米国経済

7月27日、日米国財務相が発表した4月から6月までの速報値でGDPの伸びは1.5%成長で減速しています。この原因は長引く雇用低迷、欧州の債務不安や財政状況問題からです。

秋の新学期に備え、例年8月から学用品セールが始まりますが前倒しして7月から開始、住宅には少しの明るさが見えてきたものの、経済を牽引するほどの力はありません。企業は世界景気の先行きに不安感を持っており、リストラへの合理化を進める傾向があります。

中国経済

全体的に共産党大会の開催年には上昇しているものの、開催年である今年は経済の減速感が免れません。秋の共産党大会を前に「2ヶ月連続で利下げ」を実施し景気の挺入れに躍起になっていますが、輸出に頼っていた製造業の設備投資需要が少なく景気は下降していくことになるでしょう。

不動産は銀行監督当局が今年下半期に政府による不動産規制を徹底的に実施し、不動産融資をめぐるリスク管理を強化する意向を明らかにしました。経済の安定成長をより効果的に支援する為に、重要建設プロジェクトや中小企業、低価格住宅向けの融資を拡大するとしています。

人民元は中国の地方政府が景気刺激策を発表したこと、欧州中央銀行(ECB)のドラギ総裁がユーロ防衛の意思を表明したことなどから上昇しています。

国家統計局は13日、2012年4~6月期の国内総生産(GDP)が物価変動の影響を除いた、実質で前年同期に比べ7.6%増えたと発表しました。成長率は6四半期連続で鈍化し約3年ぶりに8%を下回る水準に落ち込みました。

景気鈍化の背景には次のことが挙げられます。

①輸出の鈍化…特に EU の債務危機、経済の低迷で 11 年の輸出の伸びは半分にも至っておらず、11 年 20%強、12 年 9%余りとなっています。

②国内需要…不動産投資の抑制により固定資産の投資が縮小しているため、素材や建材などの企業間取引が低迷し卸売物価が下落傾向にあります。

☆都市や農村部の所得格差が大きく消費の底上げが成されず勢いがありません。

対策が打たれるのでしょうか?

外需コントロールが出来ず、国内の景気刺激策に頼らなければなりません。

まず金融対策に余裕があり 7 月 6 日には 2 ヶ月連続の利下げを実施、また鉄道省は高速鉄道建設を凍結し!?海外延伸を計画実行に移しています。

省エネ家電や小型車補助金を景気刺激策として打ち出すものの効果はいまひとつですね…。

日本に対する影響

中国の経済減速が、KOMATSU はじめ建設用重機の販売に影響はあるが、中国に大規模な公共投資が打ち出され、公共資本形成(参考 1)が増加すれば一般機械や鉄鋼、非鉄金属、化学などに好影響を与えることは確かである。

(参考 1)

公共資本形成…公的固定資本形成とは、政府が行う社会資本整備などの投資

☆ 中国の指標：中国経済景気監測中心 <http://www.cemac.org.cn/Eyjsz.html>

分かり易く、中国が分からなくても興味が出てきます!!

胡錦濤主席の動向

中国人民解放軍の最高指揮官である軍事委員会主席を兼務している胡錦濤国家主席は、7 月に腹心で安徽省出身の王登平中將を南海艦隊のトップに抜擢、南海艦隊は海軍の 3 艦隊の中でも主力部隊として知られ、トップの政治委員は海軍の中で最も影響力の高いポストとされ、江沢民前国家主席率いる上海閥に近い黄嘉祥中將に入れ替わる人事です。

天津市の武装警察総隊と海南省軍区の政治委員など、計 10 以上の重要ポストの人事異動も発令し、この中に元高級幹部子弟で構成される太子党のメンバーは殆どいません。

習近平体制となっても、胡錦濤氏が「院政」という形で隠然たる政治力を保つのでは…というものです。

また前の重慶市長でもある薄熙来氏の妻の谷開来氏らを故意殺人罪で起訴しましたが、薄氏への殺人事件関与も曖昧なままです。これは徹底した追及をすると薄氏の後ろ盾の周氷康党中央政法委書記の扱いも問題となり、共産党大会延期にもなり兼ねないからです。

胡錦濤国家主席が薄熙来氏を更迭(それ以上)したことによって、周もこの問題を大きくなならないように、胡・習次期国家主席(最有力候補)体制になびき、胡錦濤国家主席も薄氏事件を妻単独の事件として終わらそうとする意図が表れています。

この解決の前提では!?

胡…軍隊を掌握 周…武装警官・公安を掌握

尖閣開発を当局に申請

中国の反日団体が「中国民間保釣連合会」の童増会長が尖閣諸島(中国名：魚釣島)のリゾート開発を中国国家海洋局に申請したが、当局側は回答していない。

童増氏とは反日運動家である。

兵法

中国に兵法書が沢山ありますが馴染みの深い三十六計より、なるほど現在の外交・契約・売買など、ありとあらゆる面が出てきます。

前月に引き続き兵法のお勉強、本月は「2・3・4計」です。

～第二計 困魏救趙(いぎきゅうちょう) 相手の虚を突き友を救う

趙の国が魏の国に攻められていました。戦場は趙の首都邯鄲(かんたん)です。

趙の国は斉に救援を求めましたが趙の国と斉国の兵を合わせても勝つことはありません。一計を計り、斉国の軍師は戦場である趙の首都に向かわず魏の国の首都に攻め入りました。まさかこんなことがないと鷹をくくっていた魏軍は慌てて自国の首都に引き返しましたが、途中で斉国の軍が待ち伏せして魏軍を打ち破りました。

解説)

喧嘩の助太刀をする者は闇雲に加担してはなりません、相手の虚を突いてこそ自然に有利になるものです。この戦いでは精鋭の兵士が趙国の首都に行っており、魏の首都では老弱の兵のみが残っている、そこで虚を突き魏の首都を攻めました。

真っ向から勝負をせず十分に情報を集める、準備や考えがまとまれば虚を突き一気に勝利へと実行する。

～第三計 借刀殺人(しゃくとうさつじん) 他人の力を借りて相手を殺す。

字の通りですが、中国企業と交渉する時よくこの手が使われます。

何かの見積りは必ず3社以上に出させる…「貨比三家(フォピィサンチャ)」

自分から幾らにして欲しいとは言わないで「他社の価格はこうだから」と言う。

時には「政府がこう言っているから」と言う。

解説)

相手と直接対等に話し合うことはせず、第三者を使って、あるいは第三者を引き合いに出し交渉する、中国ではよくある手です。こちらも同様の手を使うのも一計かと…。

～第四計 以逸待勞(いいつたいろう) 相手の勢いを削ぐ為に相手の疲れるのを待つ。

待つことによって敵を疲れさせ勝利を掴む、「じらせ」「牛歩」がそれである。

皆さんも中国に行って物を買うときに、値切り交渉において嫌になるほど時間を費やされることがよくあります。こんな時に根負けして「じゃそれで」と言ってしまう、これはこの以逸待勞ですね。

中国との契約の交渉は「崖の淵から落ちる間際に交渉がまとまる」、いわゆる疲労困憊するまで交渉は延々と続けられるのです。

解説)

まず疲労困憊まで続くことを前提として交渉を始める。

相手に合わせることを求められても無理に合わす必要がない。

中国に関する情報、ご意見、ご相談、またはご意見等々お待ちしております。

投稿先: info@ibia.or.jp

和歌山県☆8月のイベント

8月9日(木) 紀三井寺～千日詣

この日に参拝すると千日分のご利益があるといわれています。

8月10日(金) 白浜花火大会

沖合い 300mで放たれる花火は沢山の観客を魅了する程豪華です。

8月11日(土) 那智勝浦町花火大会

住民の手作り花火大会で、100軒の屋台も出店します!!

8月13日(月) 熊野徐福万燈祭第50回新宮花火大会

約5000発の迫力は凄いですよ!

8月14日(火) 海南黒江～下駄市

黒江の漆器職人は盆休みに新しい下駄を履いて実家に帰る慣わしから下駄市が立ちました!

8月14日(火) 太地町～鯨太鼓鯨踊り

船上での坐踊り「鯨踊り」と巨鯨と勢子舟との戦いを表現した「鯨太鼓」が披露!!

8月15日(水) 由良町～興国寺燈籠焼

750年余の歴史をもつお祭りで、長さ4m重さ200kgの土桶(大松明)の両端に火をつけ回る!!

8月1日(水)～8月31日(金) 有田市～有田川の鵜飼 (8月13日～15日は除く)

約600年余り前、応永年間に木曾川の犬山より伝えられ、松明をかざしながら鮎をとる

8月1日(水)～9月30日(日) 北山村～北山川ラフティングツアー

関西屈指の激流ポイントで景色も空気も最高です!!

8月5日(日)、12日(日)～15日(水)、19日(日)、26日(日)

和歌山マリーナシティ～スターライトイリュージョン2012!!

音楽と花火で華麗なマリーナシティ恒例の花火ショーです!!

和歌山県下海水浴場

- ☆ 片男波海水浴場 和歌山県和歌山市和歌浦南 3-1740
- ☆ 浪早ビーチ 和歌山県和歌山市田野 149-11
- ☆ 加太海水浴場 和歌山県和歌山市加太
- ☆ 地ノ島海水浴場 和歌山県有田市初島町地先
- ☆ 西広海岸 和歌山県広川町大字西広
- ☆ 白浜海水浴場 和歌山県白浜町白良浜海水浴場
- ☆ すさみ海水浴場 和歌山県すさみ町周参見
- ☆ 那智海水浴場 和歌山県那智勝浦町浜の宮
- ☆ 橋杭海水浴場 和歌山県串本町橋杭
- ☆ 産湯海水浴場 和歌山県日高町産湯

中国に関する情報、ご意見、ご相談、またはご意見等々お待ちしております。

投稿先 : info@ibia.or.jp

知っているようで知らないお盆のお話

お盆とは

仏教の盂蘭盆会(うらぼんえ)を略したもので語源は梵語(ぼんご)の「ウランバナ(ullanbana)」、直訳すると「逆さつり」という意味を持っています。

仏教辞典には「死者が死後に逆さに吊るされているような非常な苦しみを受けているのを救う為に、祭儀を設けて三宝に供養すること」とあります。

お釈迦様の弟子の目蓮尊者(もくれんそんじゃ)が、亡くなった母親が餓鬼道に落ち逆さに吊るされている様な苦しみを受けているのを知り、何とか救おうとその母に食物を与えるのですが救えず、お釈迦様をお願いし、そのお導きで多くの衆僧を招いてご供養のお布施を捧げたのが7月15日、甲斐あって母親は餓鬼の苦しみから逃れる事ができ、極楽往生が出来たそうです。これが今でいう「お盆・お施餓鬼」の始まりです。

日本で最初の盂蘭盆会(お盆)が催されたとされるのが、推古14年(西暦606年)

もともとは旧暦の7月15日前後でしたが、7月15日前後だと農作業の繁忙期と重なる為、1ヶ月遅れの8月15日にお盆を行うところが多くなったそうです。

お盆は新仏様やご先祖様の精霊を我が家に迎え供養し、家族と亡き人が共に過ごす期間と現在では考えられるようになりました。

迎え火

迎え火とは、13日の夕方に家の門口や玄関で素焼きの焙烙にオガラと呼ばれる皮を剥いだ麻の茎を折って積み重ね火をつけて燃やして仏様をお迎えすることを言います。

そして16日には仏様に無事にお帰り頂けるように送り火を同様の形で焚きます。

京都の大文字焼きも送り火のひとつです。

お盆の供養

お迎えする仏様をおもてなしする為に、ご自宅では精霊棚の上に真菰を敷き、位牌を中心に安置し仏具やお花、牛馬や季節の野菜果物、精進料理を備えた仏前などを供えます。

蓮の葉にナスやキュウリをさいの目に刻んで洗い、米と一緒に入れた水の子(ナスの種類は108つあると言われ、108の煩惱を払うという願いも込められている)、蓮の葉に水を垂らした閻伽水(あかみず)、みそはぎ、ほおずき、素麺などを供える場合もあります。

みそはぎは、禊萩(みそぎはぎ)ともいい、旧盆の頃に咲くので盆花ともいわれます。禊には「悪霊を祓う」という意味があるので、ご先祖様がお盆で家に帰っている間に墓地に悪霊が寄り付かないようにするために墓地に供えたり、仏様は水が欲しくてもみそはぎに付いた露でないと飲まないからという説もあります。

牛馬はナスやキュウリで作った牛と馬の方が馴染みがあるでしょう。

帰ってくる仏様が足の速い馬に乗って、そして帰っていく際にはゆっくりと牛に乗ってという説や、馬は純粋に仏様の乗り物で、牛には沢山のお土産を乗せて…という説もあります。

中国に関する情報、ご意見、ご相談、またはご意見等々お待ちしております。

投稿先 : info@ibia.or.jp